

八学短大介護福祉学科の5人

介護レンジャー 結成!!

洋野

八戸学院大短期
大学部介護福祉学

科の2年生5人が、「介護レンジャー」を結成した。介護福祉の仕事の魅力を子どもたちにも分かりやすく伝えるため、5色のコスチューム姿でPR活動を行う。22日は洋野町のイベントで初舞台に立ち、参加者からエールを受けた。

(井上周平)



講演会を終え、参加者と記念撮影するレンジャー

MISSION: 介護福祉の仕事でPR

認知症予防体操を実演したぞ!



「地域文化論」の講義の1環で、同学科長(タイ出身)が就任した。同町の認知症予防普及啓発講演会では、柏葉教授と同学科の岩館亜沙美講師が講演。認知症の人々が生活する上で、最大の障壁は社会の偏見。当事者と周囲が支え合う、パートナーとして支援しようと呼びかけたほか、当事者が実際に直面する困難を具体的に紹介し、尊厳を尊重した対応の必要性を訴えた。レンジャー5人はヒーローになりきって参加した。

初舞台を終えた工藤さんは「とても緊張したが、元氣よく振る舞うよう練習してきたかがあった。後輩にも介護の楽しい部分を広めてほしい」と笑顔。柏葉教授は「小学生でも介護や認知症に関する知識があれば、祖父母世代との交流や付き合い方が深まり、予防にもつながる。将来、介護の仕事に興味を持つきっかけにもなれば」と期待を寄せた。

「介護レンジャー」として登場した学生たち